双京構想

京都は千年以上もの長きにわたり都として栄え、雅な宮中文化が育まれ、今なおさまざまな形で市民生活の中に息づくとともに、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。

こうした日本の歴史、そして皇室と京都との関わりを踏まえ、京都では、皇室の弥栄を願う「双京構想*」の実現に取り組んでいます。

この度、双京構想推進検討会議（京都市　京都府　京都商工会議所）では京都アスニーとの連携の下、以下のとおり連続講座を開催します。

＊双京構想とは

皇室の弥栄（いやさか）のため、また、わが国の伝統を守り、文化を発展させるために、皇室の方々に京都にもお住まいいただき、政治・経済の首都「東京」と、歴史・文化の首都「京都」の双方で、わが国の都としての機能を果たしていくという構想

令和８年度 双京構想連続講座テーマ「千年の京都、百年の昭和」

連続講座

① 8月28日(金)
昭和百年の歴史的意義
所（ところ）　功（いさお）（京都産業大学名誉教授）

② 9月11日(金)
現代京都と迎賓館
高野（たかの）　厚（あつし）（内閣府迎賓館京都事務所長）

③ 9月25日(金)
雅楽手解（がくのてほどき） ～宮廷の音楽入門
飛鞳（ひだ）　大富（もとよし）（市比賣神社宮司・いちひめ雅楽会）

④ 10月9日(金)
平安遷都と東京奠都
久禮（くれ）　旦雄（あさお）（京都産業大学教授）

※講師名については敬称略

参加料 無料

会場　京都市生涯学習総合センター
京都アスニー〈4階ホール〉
（中京区丸太町通七本松西入）

時間　各回とも
午前10時～11時30分

定員　**400名**（予約不要、当日先着順）

※直接会場にお越しください。なお、満員の際はお入りいただくことができません。

京都アスニー　検索
https://asny.ne.jp

双京構想連続講座について
京都市総合企画局人口戦略室京都創生担当　TEL (075)222-3375　FAX (075)212-2902

主催：双京構想推進検討会議（京都府　京都市　京都商工会議所）
　　京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）
後援：関西広域連合

双京構想 連続講座

令和８年度　双京構想連続講座テーマ

「千年の京都、百年の昭和」

昭和百年を迎え、改めて古代からの伝統を受け継ぎつつ、東京奠都以後の近代・現代において、京都がいかに発展していったかを考える。

令和８年

① 8月28日(金)

昭和百年の歴史的意義

昭和百年を迎え、宮内庁編の『昭和天皇実録』と『香淳皇后実録』を精読し、両陛下の御修学に関する記事と主要な御製・御歌を抄出し解説を加え、『昭和天皇の再発見』と題する拙著を４月初旬に刊行しました。本講座ではその内容を踏まえ、「20 世紀の名君」と呼ばれた昭和天皇の事績と、京都との関係について紹介します。



京都産業大学名誉教授
所　功

② 9月11日(金)

現代京都と迎賓館

国公賓など海外からの賓客をお迎えする国の迎賓施設は、東京（迎賓館赤坂離宮）と京都（京都迎賓館）にしかありません。なぜ京都迎賓館が設置されたのか、その目的や意義とともに、どのように賓客をお迎えしているのかなどについて、お話しします。



内閣府迎賓館京都事務所長
高野　厚

③ 9月25日(金)

雅楽手解（がくのてほどき） ～宮廷の音楽入門

雅楽は、「世界最古のフルオーケストラ」の形式を持つ稀有の音楽である。都の公家文化の隆盛に伴い、宮中儀礼や祭祀、神社仏閣においても欠く事の出来ないものと位置づけられ、現代に於いても、その伝統は脈々と受け継がれてきた。本日は、悠久の時を刻む「日本の正統なる音楽文化」の一端に、触れて頂きたい。



市比賣神社宮司･いちひめ雅楽会
飛騨 大富

④ 10月9日(金)

平安遷都と東京奠都

延暦 13 年(794)、桓武天皇による平安遷都以来、平安京(京都)は天皇の居所(ミヤコ)であり続けました。そして明治元年（1868）・２年の明治天皇の行幸を経て、東京奠都が行われます。本講座では、日本と京都の歴史上大きな転機となった遷都と奠都の経緯について、史料に即してお話しいたします。



京都産業大学教授
久禮 旦雄

注意事項について

京都市域に大雨、暴風等の特別警報、暴風警報が発令された場合や大規模な地震が発生した場合など災害の状況により休講とする場合があります。詳しくは京都アスニーのホームページで御確認ください。